

http://www.minamih.net/



13・7・26(金)
南NEWS NO30

今日から合宿です。

合宿に参加させてくれたお家の人に感謝し、お休みをみんなのために使って熱心に指導して下さるコーチのみなさん、応援のみなさんにありがとうの気持ちを忘れず、4日間をGAMBAりましょう。

チームメイトと心と力を合わせ、自分のめあて・チームのめあての達成をめざしてGAMBAってください。優しく強い自分・優しく強いチームになって八王子に帰ってきましょう。

自分でできることは自分でして、仲間と仲良く過ごして、楽しい思い出を作りましょう。

合宿を楽しみにしていたのに参加できない仲間のためにもGAMBAりましょう。学習もね。

by南のアンパンマン

◎子ども達に練習や試合で気をつけてほしいこと

- ①練習中は帽子を必ずかぶること。
試合を観ている時もね。
- ②練習や試合では自分の水筒にスペシャルドリンクを入れてもらってすぐ飲める場所に置いておくこと。
- ③気分が悪くなったら我慢しないですぐにコーチに言って休むこと。

◎コーチの皆様をお願い

☆休憩と飲水

- 随時水分補給をする
- 1・2年生は10分毎に小休憩, 20分で大休憩
- 3・4年生は15分毎に小休憩, 30分で大休憩
- 5・6年生は20分毎に小休憩, 40分で大休憩

※上記の時間はあくまでも目安ですが、時間を短縮することはあっても長くすることはしないでください。

◎診療所

☆金・土・月：山中湖平野診療所

山中湖村平野141-1 0555-65-8229



☆日：山梨赤十字病院 富士河口湖町船津6663-1 0555-72-2222

富士吉田市立病院 富士吉田市上吉田6530 0555-22-4111

テクニカルカード

君もネイマールになろう！！

毎年のことですが、合宿で南のテクニカルカードを配ります。南のテーマの一つである“ドリブルで相手を抜く楽しみをどの子にも”の達成をめざすのです。

東京都でベスト4に入るチームほどのチームもドリブルで相手を抜き、局面を開く力をもつプレイヤーが何人もいます。一昨年の全日本予選東京都大会で準優勝した白百合にはドリブル力のある子が数人います。準決勝で圧倒しながら白百合に敗れましたが常勝ヴェルディは全員がドリブル突破・キープ力を持っています。自信と余裕を持ってプレーしています。

かつて矢上がJヴィレッジで指導法と一緒に学んだ菅澤大雅元ヴェルディU12監督は東京都の5年生大会で「パスするなドリブル、ドリブル！」と指導していました。6年生の全日本大会では見事日本一に輝きました。南でもどの子にもドリブルを楽しむ子になってほしいのです。そういう子を育てたいのです。

7月21日の青梅招待グリーンカップで優勝した南の3年生は、椅子の形・ダブルタッチ・ストップゴール・ランウイズザボール・V字・etc、いろいろなターンを駆使して、3試合とも相手を圧倒して見事優勝したのです。どの学年の子もそうになってほしいのです。

ドリブルで突破する、ボールをキープする力のないプレイヤーは試合を決めるパスを出したり、クリエイティブな動きをすることもできません。ボールを奪われなかとプレッシャーを感じるあまり余裕がなく、周りを観ることもできず、判断をせず、ただボールを自分の所から遠ざけるために蹴るということになってしまうのです。

コーチのみなさんには日頃から取り組んでいただいておりますが、4日間の合宿でドリブルとターン・スクリーン力のさらなる向上を図っていただければ幸いです。

テクニカルカードは自分で評価できるカードです。南の納会の前に提出してもらい、ドリブルチャンピオン賞を決める時の資料とします。ファイルに入れて練習や試合の時に持ち歩き、できたことを記入することになります。



“もてて読みのある選手の育成”

上の言葉は、1982年、サッカーマガジン「私のアイデアトレーニング」に松田さんと一緒に由井三小で取材を受けた時に矢上が伝えたテーマでした。30年たった今も変わりはありません。クリエイティブでたくましい選手の育成の基本です。

むさしの選抜の一員として、全日本大会出場の強豪チームが集う清水リアルチャンピオン戦決勝にCFで出場し、試合を中継した静岡でレビの解説者に“ドリブル・突破力は超中学生級”と評された南の5期生堀江直喜君、若き日の松田さんの姿も掲載されています。髪の毛ふさふさ、腹の出いていない矢上も載っています。ご覧になりますか。

by南のアンパンマン